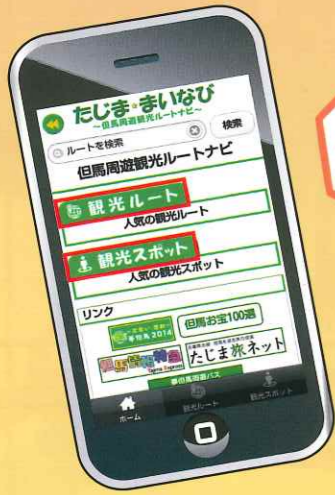




<夢但馬 2014 とは>
平成6年度に開催された「但馬・理想の都の祭典」から20年目となる平成26年度をきっかけとして、但馬全域の資源を改めて見つめ直し、新しい地域づくりの機運をつくらうとしています。
<事業プログラム登録事業数 (26.1.31 現在)>
約280の事業が登録されています。詳しくは、「夢但馬2014」のホームページをご覧ください。

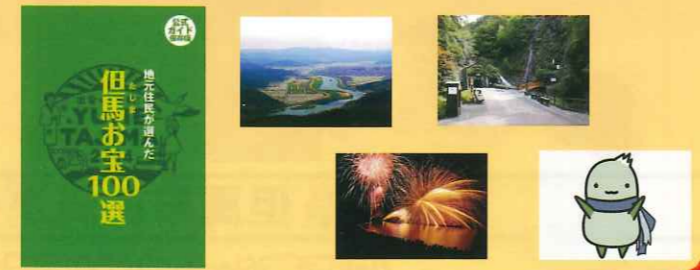
INFORMATION

・たじま☆まいなび
無料のアプリで但馬周辺のおすすめ観光スポットやルートを手軽に検索できます!



但馬内のイベントと観光スポット一緒に巡りませんか?

「但馬お宝100選」のガイドブックができました!
～但馬お宝100選とは～
但馬地域を愛する住民の皆様から、自然・人口景観等様々な「但馬のお宝」をお寄せいただき、特に但馬地域の魅力と個性を表現するものを選びすぐりした100項目です。
このガイドブックを片手に、ぜひ但馬のお宝を巡って、但馬の魅力を発見してください。



Google Play Store, App Store から無料ダウンロードできます。



QRコードからダウンロードされる方はこちらから



編集後記

広報委員は、各グループから活動を伝える役割をもって会議に出席します。仕事を終え駆けつける委員、会議の為に資料を集めて会議がスムーズに運ぶようにと、準備する委員達。熱い思いの活動が十分に紙面上に載せられたのか、思いは伝わっているのか、毎回考えさせられていました。しかし広報のスタッフは、どこにも負けないプロ級でした。見てください、出来上がりはいつも満点。我がスタッフの英知に、心のグラスで乾杯です。
広報委員長 森本 七重



第6期夢テーブル委員会で作成したのぼりデザイン

第22号
2014.3

たじま 夢つうしん



但馬夢テーブル委員会に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町 7-11
但馬夢テーブル委員会 (但馬県民局 県民協働室ビジョン課)
電話: 0796-26-3615 FAX: 0796-24-7074

但馬地域ビジョンについては、ホームページで公開中です!
<http://web.pref.hyogo.jp/area/tajima/vision.html>



Contents

- ☆第6期委員長・副委員長あいさつ
- ☆第6期グループ活動紹介
- ☆夢カフェの紹介

- ☆但馬県民局からのお知らせ
- ・但馬夢シナリオ地域づくり活動応援事業について
- ・夢但馬2014について

第6期 但馬夢テーブル委員会

「感謝、そして次のステージへ！」

早いもので第6期但馬夢テーブル委員会の活動も2年が経とうとしています。委員長という大役を拝命し、経験豊富な諸先輩方、夢溢れる若いメンバー、事務局の方々のお力添えをいただきながら、ここまでやってこれました。但馬夢テーブル委員会がご縁でお世話になった方々へ改めて感謝申し上げます。

但馬地域夢会議では次代を担う高校生の提言を引き出しました。ゆめカフェでは女性の意見を地域へ活かす一端を担いました。又、とよおか絆フェスタ、但馬空港フェスティバルや但馬まるごと感動市への出展、テレビ、新聞、face bookなどで我々の思いや活動を但馬内外の方々へ大いに発信できたのではないかと思います。

いよいよ4月から～出会い・感動～夢但馬2014が始まります。但馬・理想の都の祭典から20年を契機に但馬創生プロジェクトとして取り組むもう！と提言したのは、実は我々但馬夢テーブル委員会なのです！但馬全体が「出会い」「感動」のステージとなるよう愛するふるさとを更に盛り上げていく、その一助となれるよう但馬夢テーブル委員会は益々頑張っております！今後とも但馬夢テーブル委員会をどうぞ宜しくお願い致します。



委員長 浮田 喜弘



副委員長 松原 慎吾

「第6期活動を振り返って」

第6期も充実した部会も多々ありましたが、その一方で当初の思いを遂げられなかった方もおられるかと思います。

しかし、それはそれで仕方が無いと思っています。

当委員会や各種ボランティア等の無償参加型の集まりは全て「自己満足」の世界で、その成果や結果が、地域社会や他の人に影響を与え、過程には色々有っても、それがあからさまに続いているのではないのでしょうか。

私たちは「種」です、それを事務局が時に水をやり、肥料を与え、花を咲かせ、実を付けます。

この繰り返しを何年も行う中、残念ながら一年草も多く、残ったのは思い出だけの時もありましたが、来期に向けて多年草の芽が出るよう品種改良を進めながら新しい「種」を多く作り出したいです。

この通信を読まれる皆さん「自己満足」を体感しに来ませんか、それが感じられるまで何度でも、何回でも、どこにでも顔を出し観て聴いて話して楽しんでください、そして「種」と成りその広がり先に「オール但馬」が見えて来るのではないのでしょうか。



副委員長 森本 七重

「輪が広がった活動に感謝」

2年前、自分の思いをテーブルに並べて、スタートした活動は、あっという間に終わってしまいました。すべての活動に参加はできなかったがとても貴重な体験ができました。

但馬にいなながら知らないことが多くあり、まだまだ奥が深く、入口に立っただけでした。自称、但馬のおばちゃんを名乗っていたが、学習不足を思い知らされた活動でもありました。

縁あってこの活動に参加が出来たことで、人と人との輪が広がり、すばらしい「宝」を得ることができました。グループ活動で印象に残っていることは炭焼き、塩づくり体験、雪の降る日に竹で、箸や器づくりと竹ドーム体験等、子どもに返った一日でした。

楽しい体験にと事前の準備に余念のないリーダー達の心配りには、参加する都度、主人と共にいつも感謝しております。

また、私のようなおばちゃんが、副委員長をさせて頂くことになり、委員長や事務局の皆さんにもご迷惑をお掛けしたこと、この場を借りてお詫びいたします。

活動を通して、益々、但馬ってすごいと思いました。

頂いた輪の縁を大事に、更なる輪の広がりとお会いに期待しています。

第6期 グループ活動紹介

活気あふれる 人づくり・街づくり

リーダー	明尾	友美
副リーダー	太田	吉春
広報担当	飯田	洋己
	河原	学
	藤田	貢
	本田	治
	松原	慎吾

6期の活動は、T→friends（青少年交流サロン）のメンバーと協力して、世代間交流を目的に活動してきました。

五荘地区公民館で行われた子ども祭りでは缶バッチ釣り、木こり体験を通して、幼児、児童、高校生と様々な世代との交流ができました。

もっと但馬が活気あふれる人や街となるように若者との交流づくりが盛んになることを願っています。

リーダー 明尾 友美



自然ゆめ探検隊

リーダー	竹森	明光
副リーダー	杉山	隆一
広報担当	西村	慎太郎
	熊田	得男
	幸木	乃利子
	小南	かおる
	田中	正
	中井	克己
	沼田	秋子
	前田	敦司
	宮田	和男
	森本	七重

自然ゆめ探検隊として2年が過ぎようとしています。

この2年間、海や山、里山など10を超えるほどの企画を行って来ました。里山での炭焼き体験、海辺の塩作り体験などでは自然と共に生きて行くための技と自然への思いやりを感じ取る事が出来たと思います。

夏のジオカヌーや冬山でのスノーシュー、真っ白な雪の上で勾配のきつい所を歩きながら冬山を楽しむ、これも自然に対する面白さを味わうことが出来たと思います。

これからも但馬の自然の豊かさや素晴らしさを多くの方々と感じ、自然の大切さを発信していく活動に取り組みたいと思っています。

リーダー 竹森 明光



自然ゆめ探検隊の活動は「但馬遊びナビ」のサイト内但馬夢テーブル委員会アクティビティイラストマップで、紹介しています！
[http:// 但馬 navi.com/activity_map/](http://但馬navi.com/activity_map/)

但馬いかそうめん

リーダー 嶋田 治
副リーダー 曾我 一作
広報担当 幸木乃利子
広報担当 西垣 義嗣
上村 俊雄
片山 正己
川口 雅秀
熊田 得男
福田 嘉之
本田 治

未来につながる取組みをとの思いから、エネルギー問題に取り組むこととして、小水力発電に着目し、水資源が豊かな但馬で公共施設への電力供給や家庭の電力の自給を目標に活動してきました。

実際の検討を進める中で、試作する発電機的设计や協力していただく学校との調整、試運転するための地元や行政との協議等の問題をクリアするには2年間では短すぎました。

来期に向けてご期待に応えられるよう頑張りたいです。

リーダー 嶋田 治



気策な(奇抜な)但馬一円ルート観光!

リーダー 中島 健夫
副リーダー 日下 博勝
広報担当 井上 嘉文
岡本 雄一郎
田淵 誠
藤原 進之助
吉岡 亮

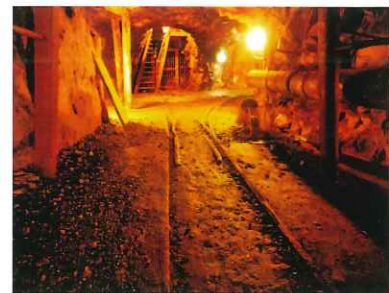


観光・交流の分野で但馬の観光を発見・発信する活動。グループ名も「気策な(奇抜な)但馬一円ルート観光!」とし、観光化された場所ではなく、未だ地元でしか知らない名所、パワースポット(恋愛運、健康運、金運、精神運)を発信していくことを目的として活動しました。

吉滝で冷気に触れ、マイナスイオンを浴びる。明延鉱山坑内は真夏でも涼しく、神秘的な空間。

その他、香住・浜坂・竹野のジオパーク観光船、但馬高原植物園にある和池の大カツラ、狗鷲桜、黒川・生野ダム、青倉神社等で活動を実施し、一見自然な風景が、見方次第ではスピリチュアルな感覚となる場所を広める工夫を模索しています。

リーダー 中島 健夫



夢創塾

リーダー 片山 正己
副リーダー 中嶋 忠男
広報担当 大木本芳弘
上田 五男



私たちのグループは「医・食・住」を基礎ベースとし、「自立・安全・安心」が保たれる環境空間はどのようにあることが望ましいのかをテーマに、但馬内の限界集落を訪問し、高齢者の方々と意見を交わす中で、高齢者居住環境整備の方向性を示したいとの思いで活動を行いました。活動する中、少子高齢化に歯止めがかからず、社会保障は年々膨らみ、国がいつまで医療分野に十分な予算をつけられるのかわからない状況であることがわかり、今後の医療は「治療」よりも「予防」に重点が置かれる時代が到来するのではないか。つまり、「ヘルスケア」が長寿社会のキーワードとしてより重視される時代となるのではと考えました。今後も今回の活動を活かし、勉強していきたいと考えています。

リーダー 片山 正己

タジマモリあげ隊

リーダー 太田 博章
副リーダー 萩原 哲也
広報担当 上村 俊雄
上田 敏夫
浮田 喜弘
太田 佐千子
岡本 雄一郎
藤原 文男
牧野 裕美子

但馬夢テーブル委員会での活動に関心を持った理由は、「まちづくり」を但馬という広い視点から捉え、3市2町各々のしがらみにとらわれることなく、故郷をより良いものにしたいという想いを抱く仲間たちと力を合わせて何かに取り組んでいくことができるのではないかと考えたからです。

第6期活動開始当初、地域の「資源活用」に関心を持ち、集まった数人の仲間とディスカッションを重ね、掲げたビジョンは「中嶋神社に祀られている田道間守命に着目し、お菓子の力で但馬を盛り上げる」ということ。そして決めたグループ名はその名もズバリ「タジマモリあげ隊」。

任期の2年間、タジマモリあげ隊の活動を通して多くの人と出会い、様々なことを学ぶ機会をいただきました。そのすべてが自分にとっての宝物となっています。本当にありがとうございました。

リーダー 太田 博章



但馬古民家探訪

リーダー 吉田 順一
副リーダー 大林 守
広報担当 西谷 瑞雄
出田 悦子
大木本芳弘
西谷 嘉明
村上 隆司



ある古民家を訪問。150年ほど前の移築した古民家は竹の間、松の間とそれぞれ和室があり、襖は竹の墨絵、障子は丸みを帯びた細かい細工や書院と床柱は黒い縞の黒柿、また壁は黒っぽい鉄さびの土壁、天井はこの時代に珍しい屋久杉の無垢板、階段は檜（けやき）材で漆塗りの高級品。これが古民家の醍醐味です。

材木は適材適所に匠は上手く計算しつくして、家を完成させてきたのです。世界に誇れる住居だと思っています。

ただし、「古民家は人の暮らしがあってこそ美しい」と聞いたことがあります。私たちはそんな古民家を研究、この但馬の古民家という財産を守り将来に伝える活動してきました。

今後も活動が発展することを期待しています。

リーダー 吉田 順一

但馬の食・農業ブランド

リーダー 久保 千賀子
副リーダー 川見 和秀
広報担当 辻本 康次
國谷 寛
小島 義明
曾我 一作
田中 君代
田中 美智子
野村 和子
宮根 裕一
村上 隆司
村瀬 晴好

私たちは名前に「但馬」がついている但馬牛を中心に「但馬の食ブランド」を正確に知り、その魅力を伝え、ファンを増やす活動に取り組みました。

イベントでは、但馬牛ホルモン焼きうどん＆松葉ガニパスタで出店し、新たなメニューを味わってもらいました。但馬まるごと感動市では「食の〇×クイズ」を開催し、但馬の食に関わる知識・興味を深めていただく機会をつくりました。

また、「但馬めぐる食スタンプラリー」では地元の企業に豪華な地元食材をご提供いただき、但馬内だけでなく、京阪神の方々にもご参加いただくなど、予想を上回るご応募で盛況に終わりました。ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

但馬夢テーブル委員会は、地域を盛り上げる大事な活動の一つとして、夢但馬2014でもその役割を発揮出来るものと思います。また、来期が楽しみです！

リーダー 久保 千賀子



夢カフェ(住民参加によるカフェ型ワークショップ)開催!!

夢を現実にするための場
語るだけでなく、行動へと繋げるための場
同じ方向を向いて夢を追いかける仲間を創るための場
情報交流とゆるやかなネットワークづくりを目指しています!

これまで2回開催してきた夢カフェ。第1回の夢カフェでは20代から40代の女性の方に、第2回の夢カフェは地域で活動をされている方を招いて意見交換をしました。理想のまちをつくるために自分たちで何かできないかを考え、ボランティア活動やフェイスブックなどでの情報発信といった身近な活動や実現可能なイベントを発表しました。

夢カフェでいただいたご意見を参考に活動していきたいと思えます。但馬夢テーブル委員会では、今後も夢カフェを但馬各地で開催していきますので、参加してみたい、興味があるという方、是非一緒に夢をかたちにしましょう!



但馬県民局からのお知らせ

但馬夢シナリオ地域づくり活動応援事業 ～助成のご案内～

地域団体が但馬夢シナリオ(※)の実現に向けて取り組む事業のうち、要件を満たすものに対し、経費の一部を助成します。

※但馬夢シナリオとは?
但馬に住んでいる又は、但馬にゆかりのある皆様が思い描く具体的な夢です。

＜対象団体＞
規約や代表者を決めている
地域団体や実行委員会です。

＜助成金額＞
上限50万円
(助成額は1万円単位とします)

＜申し込み方法＞
所定の申込書に必要事項を記載いただき、提出先までご持参ください。
申込書は各市町役場や但馬県民局で配布しています。
また兵庫県ホームページ (<http://web.pref.hyogo.lg.jp/tj02/chiikizukuri.html>)
からもダウンロードすることができます。

＜受付期間＞
平成26年4月1日(火)～
平成26年4月30日(水)

＜問い合わせ・資料請求・提出先＞
こころ豊かな美しい但馬推進会議
(但馬県民局県民協働室県民運動課内)
〒668-0025 豊岡市幸町7-11
TEL 0796-26-3647 FAX 0796-24-7074

